

第61期・2021年3月期

第2四半期決算説明資料

株式会社 JCU

東証 1 部 4975

2020年11月4日(水)

コロナ禍による当社への影響

事業への影響

(電子部品分野)

中国において基板メーカー工場の稼働率は、コロナ前の状況まで回復、当社の薬品需要も回復

全世界での経済活動の制限により、消費意欲は低調、5Gに牽引される市場全体の成長は鈍化、当社薬品の需要成長も限定的

(自動車向け分野)

中国では自動車メーカー工場の稼働は再開したものの、その他ASEAN諸国ではロックダウンなどにより工場休業、営業活動の制限などの影響が大きい

加えて、欧米車含む、全世界で自動車産業の景気が低迷し、薬品需要は大幅に減少

当社湖北工場への影響

工場およびテクニカルセンターの本格稼働は遅延、年明けの量産開始を目指す
本格稼働開始までは、従来のとおり委託先で生産を行うため、お客様への薬品提供は影響なし

2021年3月期2Q累計 業績概況

当社決算の概況

＜2Q累計期間＞

JCU(単体) → 4月 - 9月

海外子会社 → 1月 - 6月

《電子部品分野向け》

- スマートフォンの販売台数は減少するも、中国は5 G基地局アンテナ用プリント基板、5 G対応の監視カメラ用プリント基板が増加し、薬品需要は横ばいに推移
- 台湾は高機能電子デバイス向けプリント基板、サーバー向け半導体パッケージ基板が増加し、薬品需要は好調に推移
- 韓国は一部のプリント基板メーカーがH D I 基板事業を撤退したことにより、薬品需要は軟調に推移

《自動車分野向け》

- 国内自動車業界は回復の兆しはあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響などによる低調傾向は継続し、薬品需要は大幅に減少
- 海外は中国において自動車部品メーカーの生産稼働は、新型コロナウイルス感染症の影響からは回復基調にあるも、米中貿易摩擦、環境規制の厳格化影響による自動車販売台数の低迷は継続し、薬品需要は大幅に減少

《装置事業》

- 工事の検収状況により一時的に売上は増加したものの、大型案件が減少したことで、受注高は通期で大幅に減少見込み

2021年3月期2Q累計 連結実績

(単位：百万円)

決算期	2019年3月期 上半期	2020年3月期 上半期	2021年3月期 上半期		
	実績	実績	予想	実績	対前年同期 増減率
売上高	13,078	10,184	10,000	9,673	▲5.0%
営業利益	3,427	2,919	2,550	2,917	▲0.1%
経常利益	3,495	2,869	2,650	2,953	2.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,559	2,027	1,850	2,012	▲0.8%
1株当たり 四半期純利益	91円95銭	74円88銭	69円70銭	75円88銭	—

為替レート

(単位：円)

	2020年3月期				2021年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	(期首予想)	1Q	2Q
中国 人民元 (C N Y)	16.32	16.20	15.89	15.78	15.61	15.61	15.39
台 湾 ド ル (T W D)	3.58	3.55	3.52	3.53	3.62	3.62	3.61
韓 国 ウ ォ ン (K R W)	0.0980	0.0961	0.0940	0.0937	0.0914	0.0914	0.0898

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国 人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

為替感応度（連結年換算）：上記主要通貨1%の変動で、連結営業利益0.6億円程度

2021年3月期2Q累計

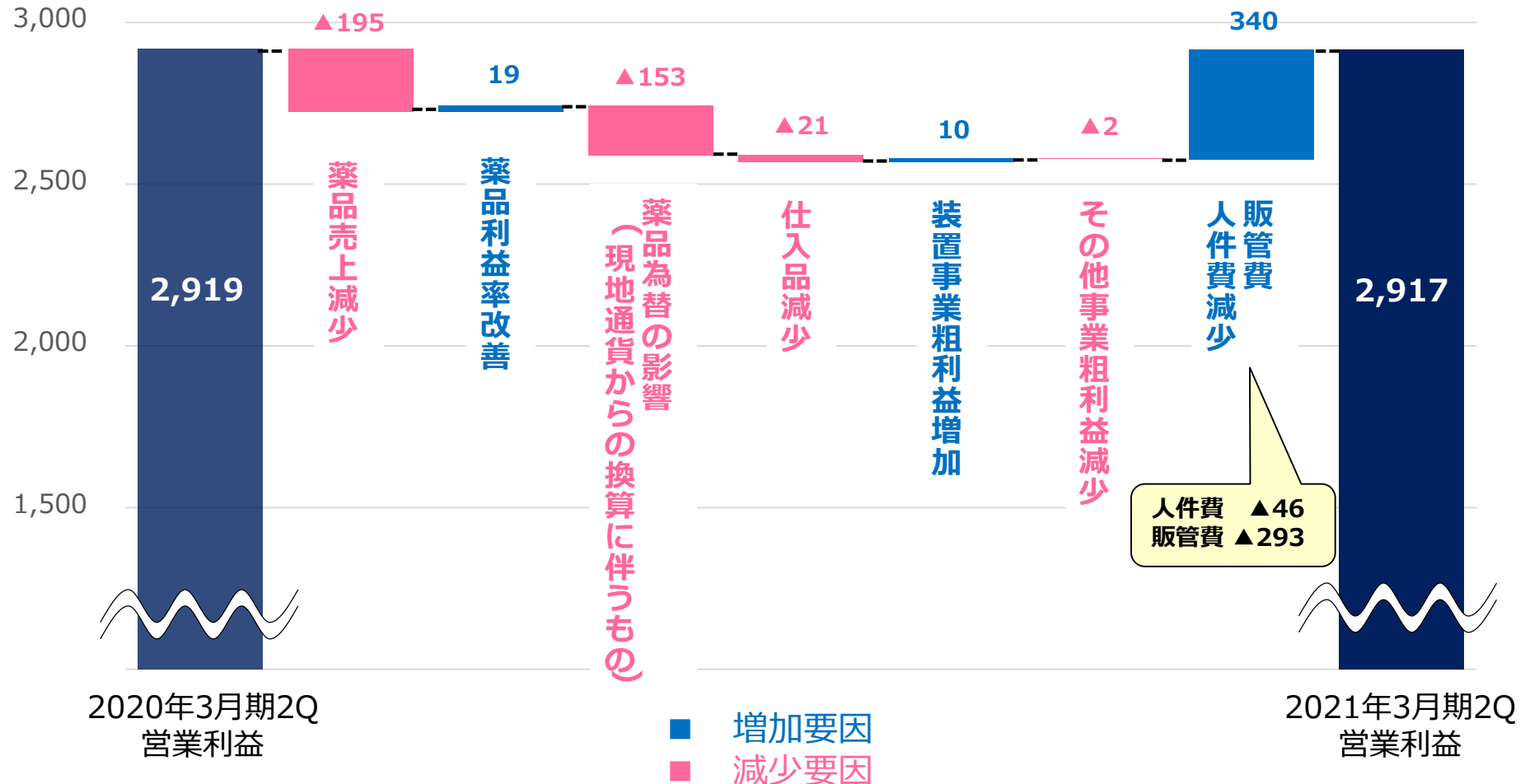
連結営業利益

増減内容

(単位：百万円)

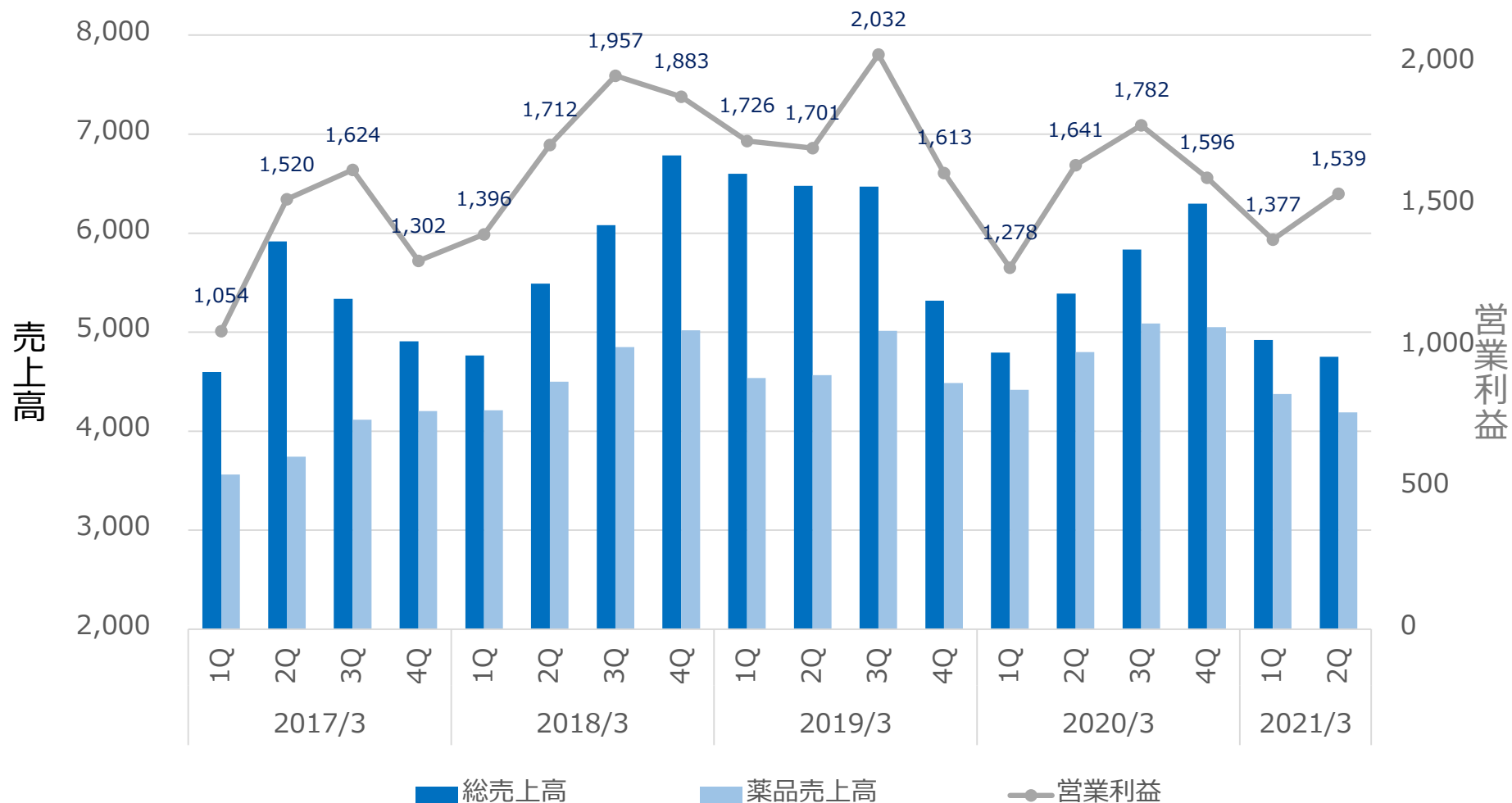
(前年同期比)

▲2百万

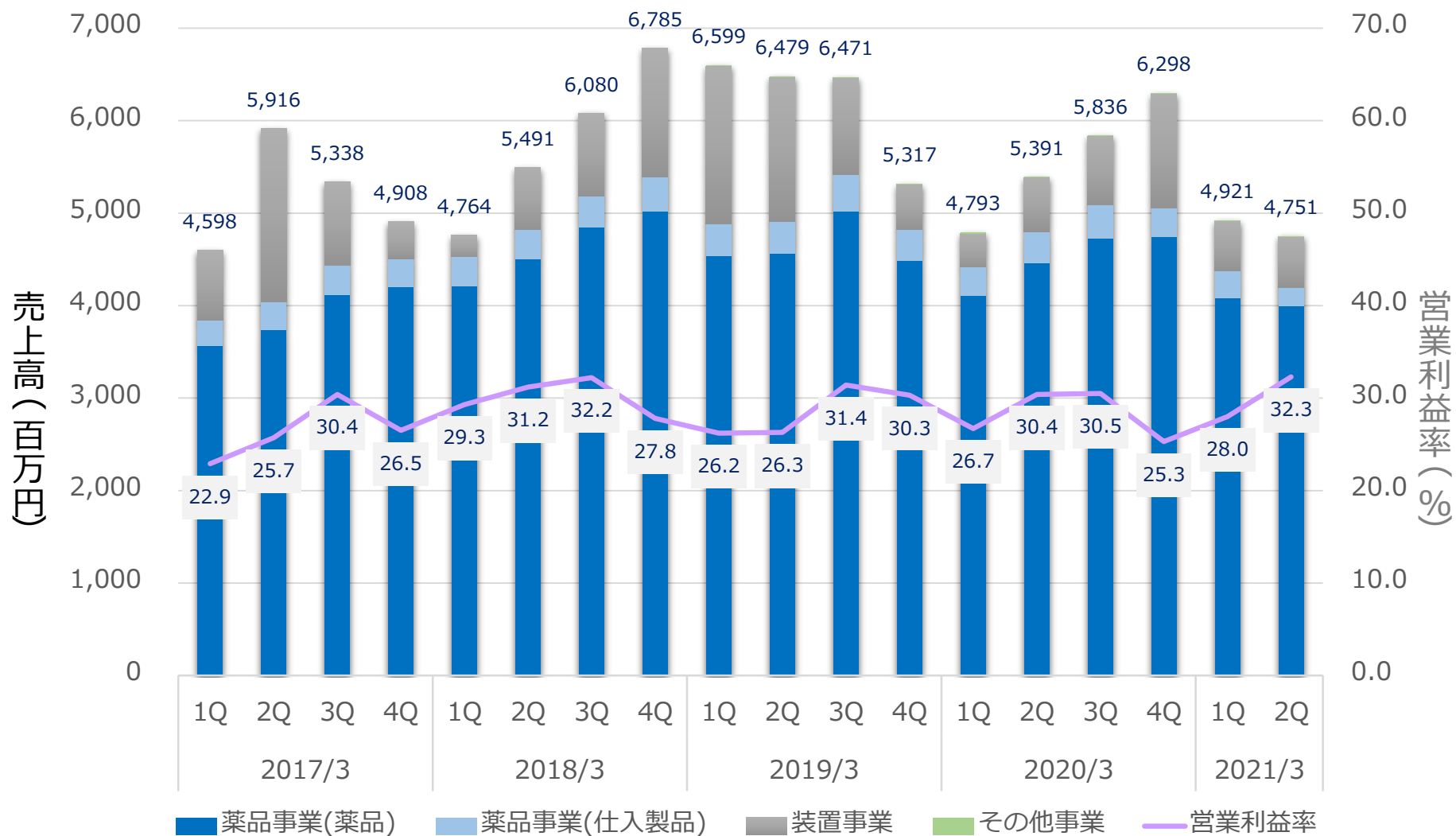


四半期別 連結業績の推移

(単位：百万円)

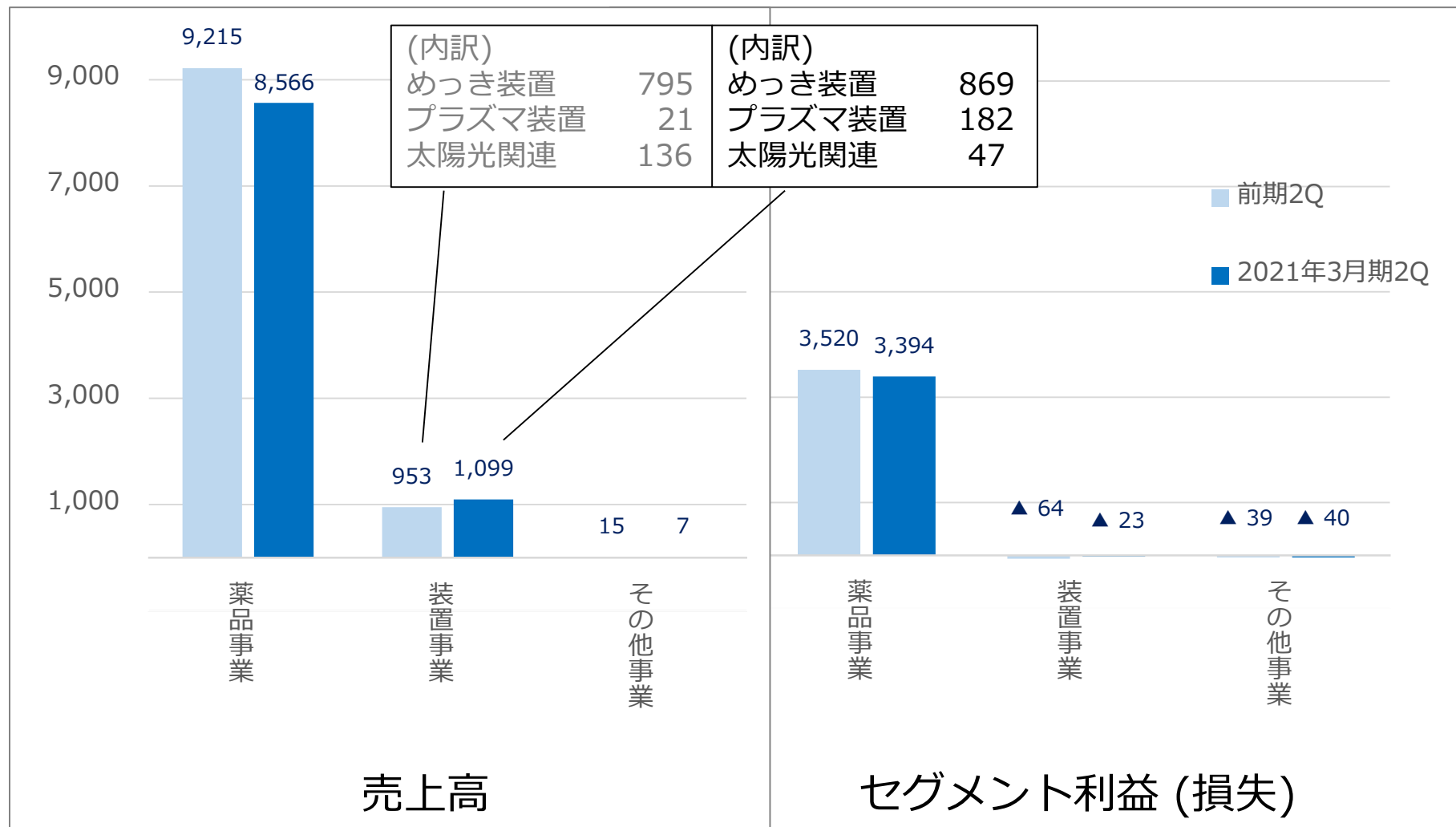


四半期別 連結業績の推移(セグメント別)



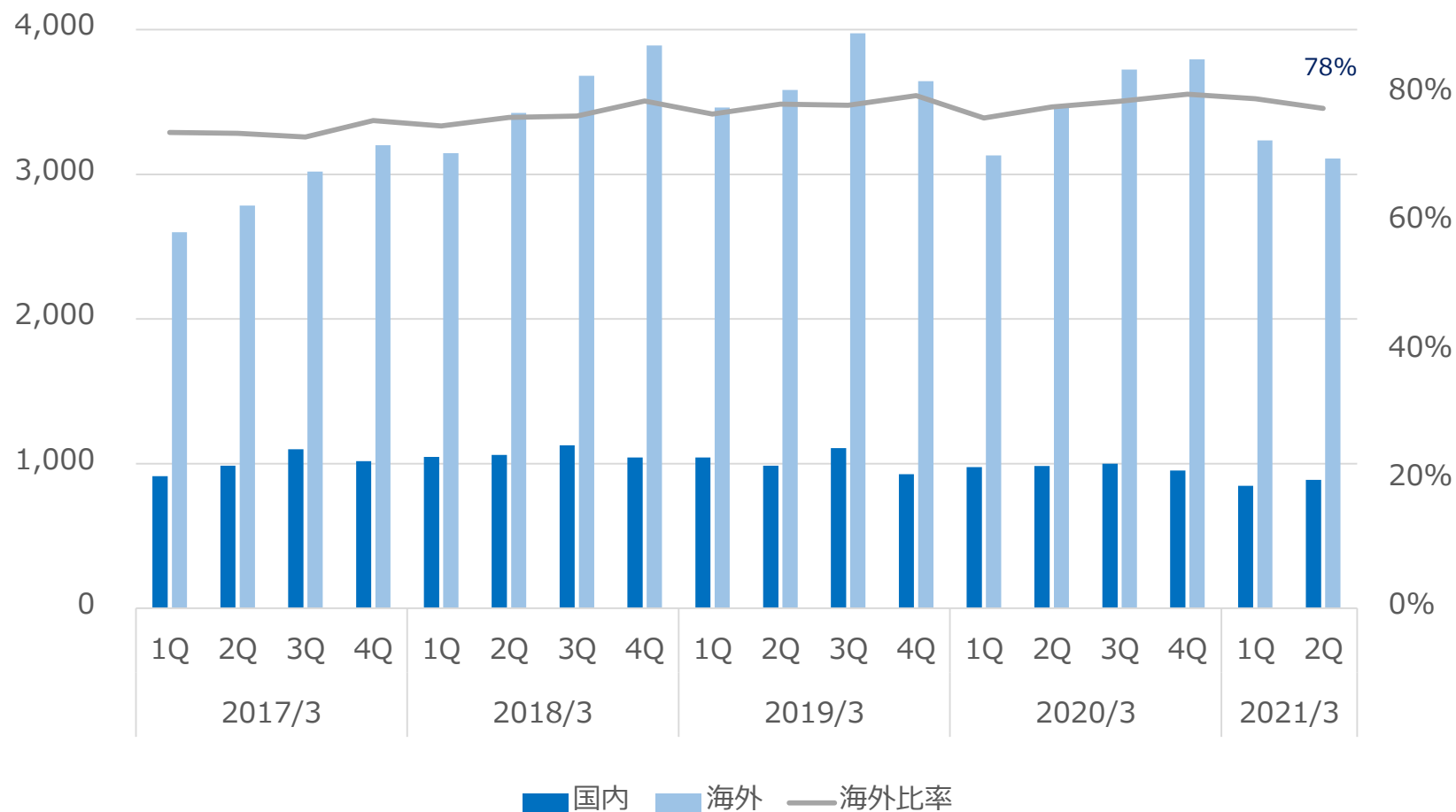
2021年3月期2Q累計 連結セグメント業績

(単位：百万円)



四半期別 国内外薬品売上高推移

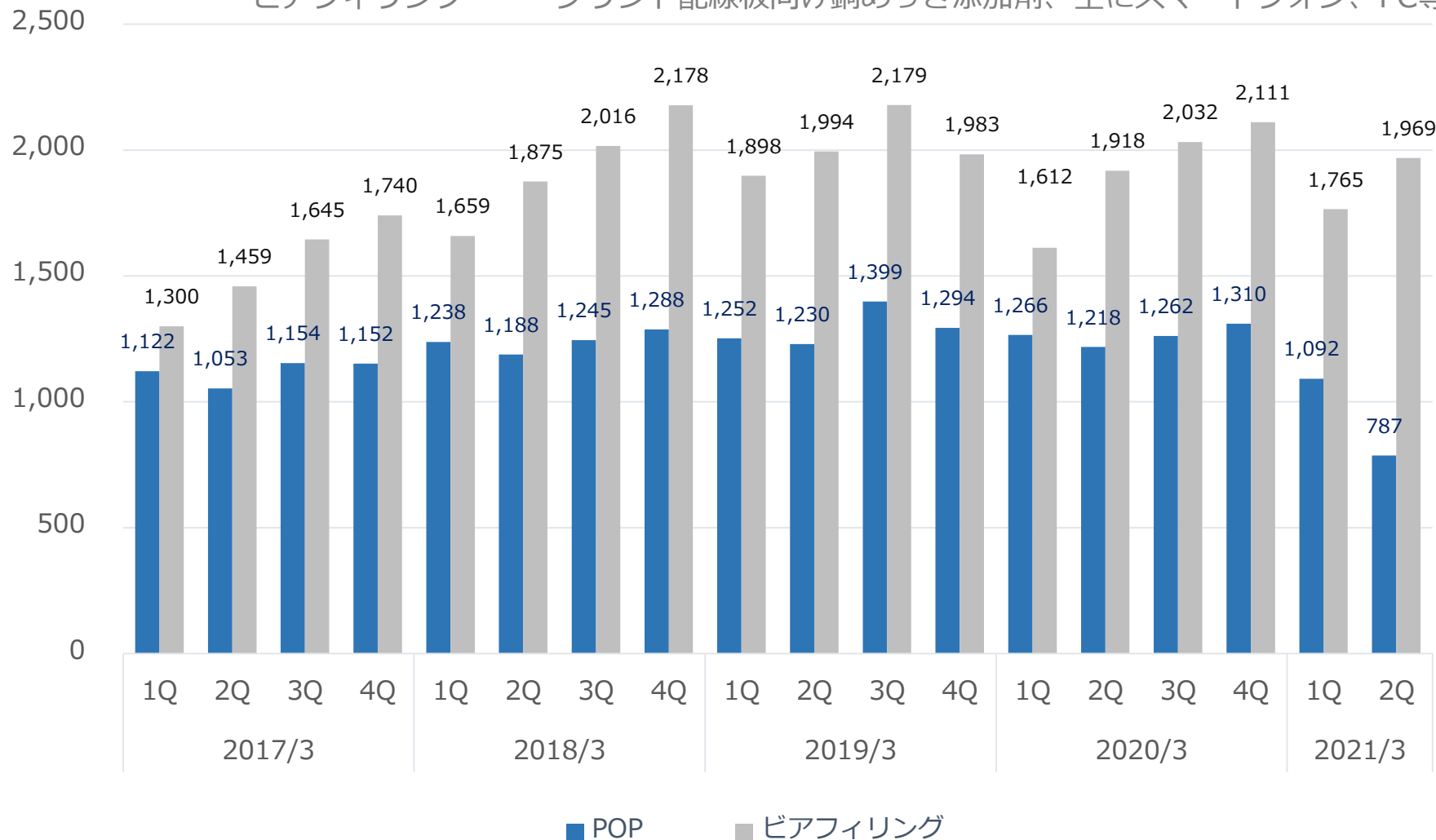
(単位：百万円)



四半期別 POP,ビアフィリング用薬品の売上高推移

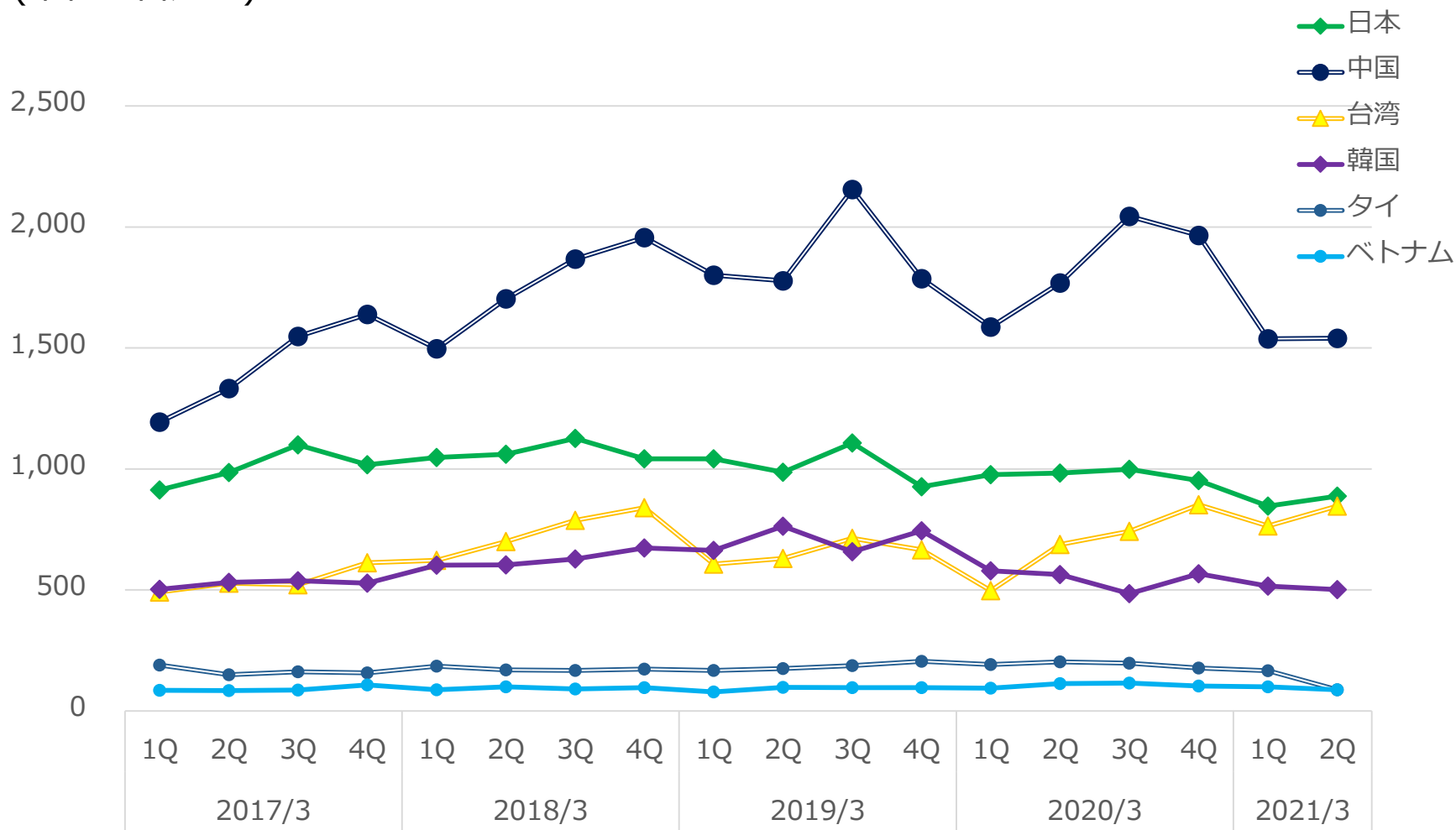
(単位：百万円)

POP (Plating on Plastics)・・・プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
ビアフィリング・・・プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

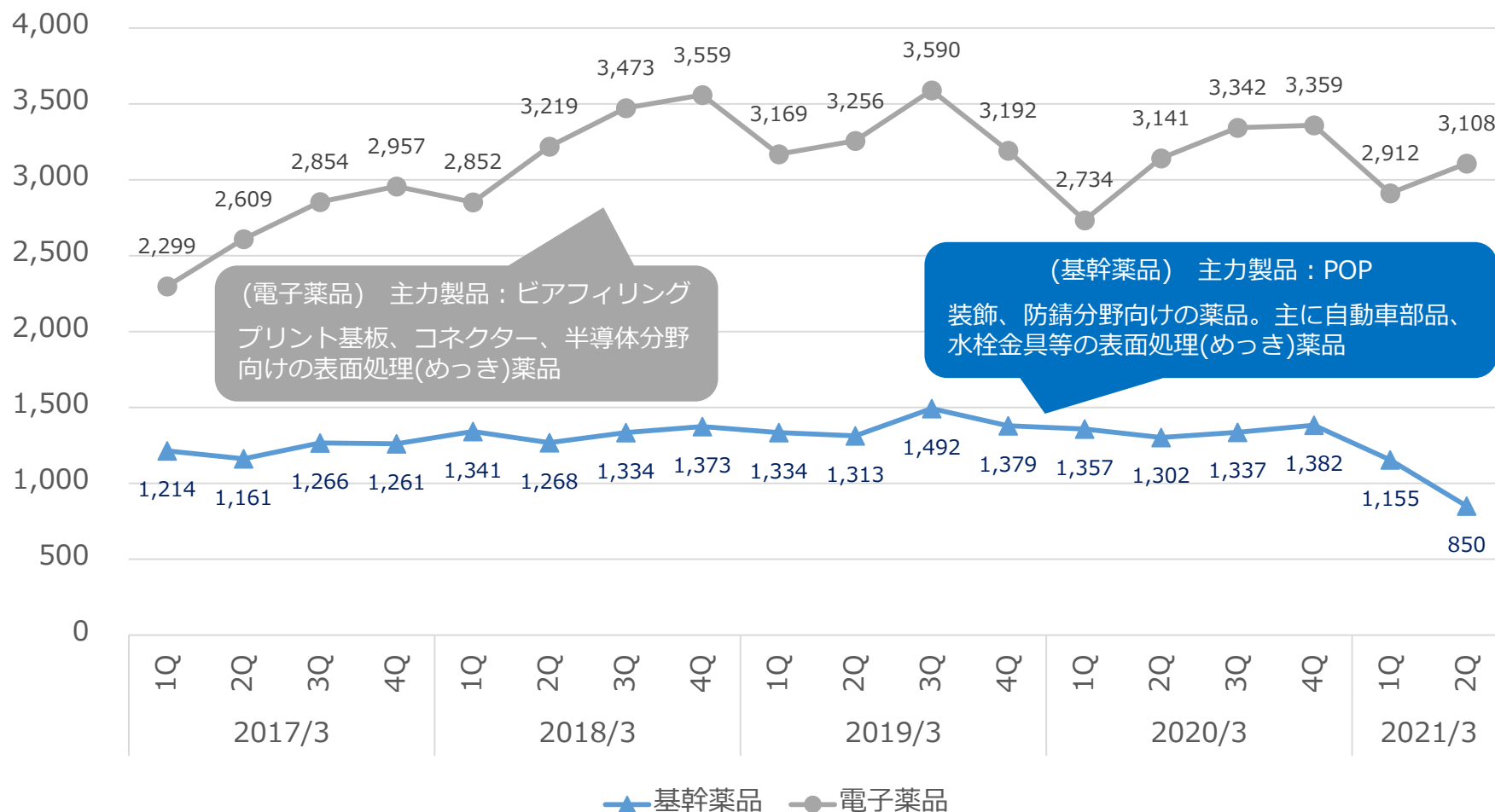
(単位：百万円)



四半期別 分野別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

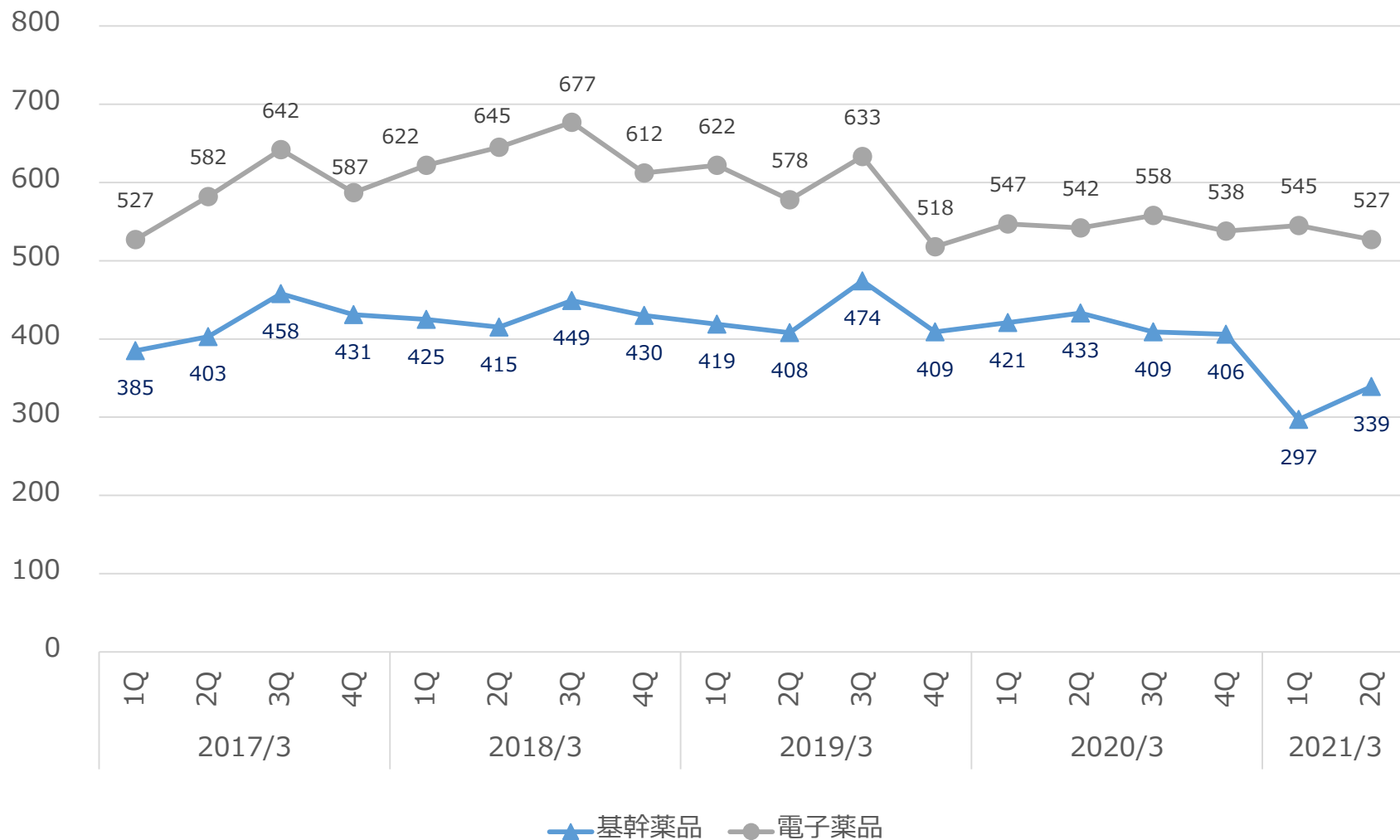
連結



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

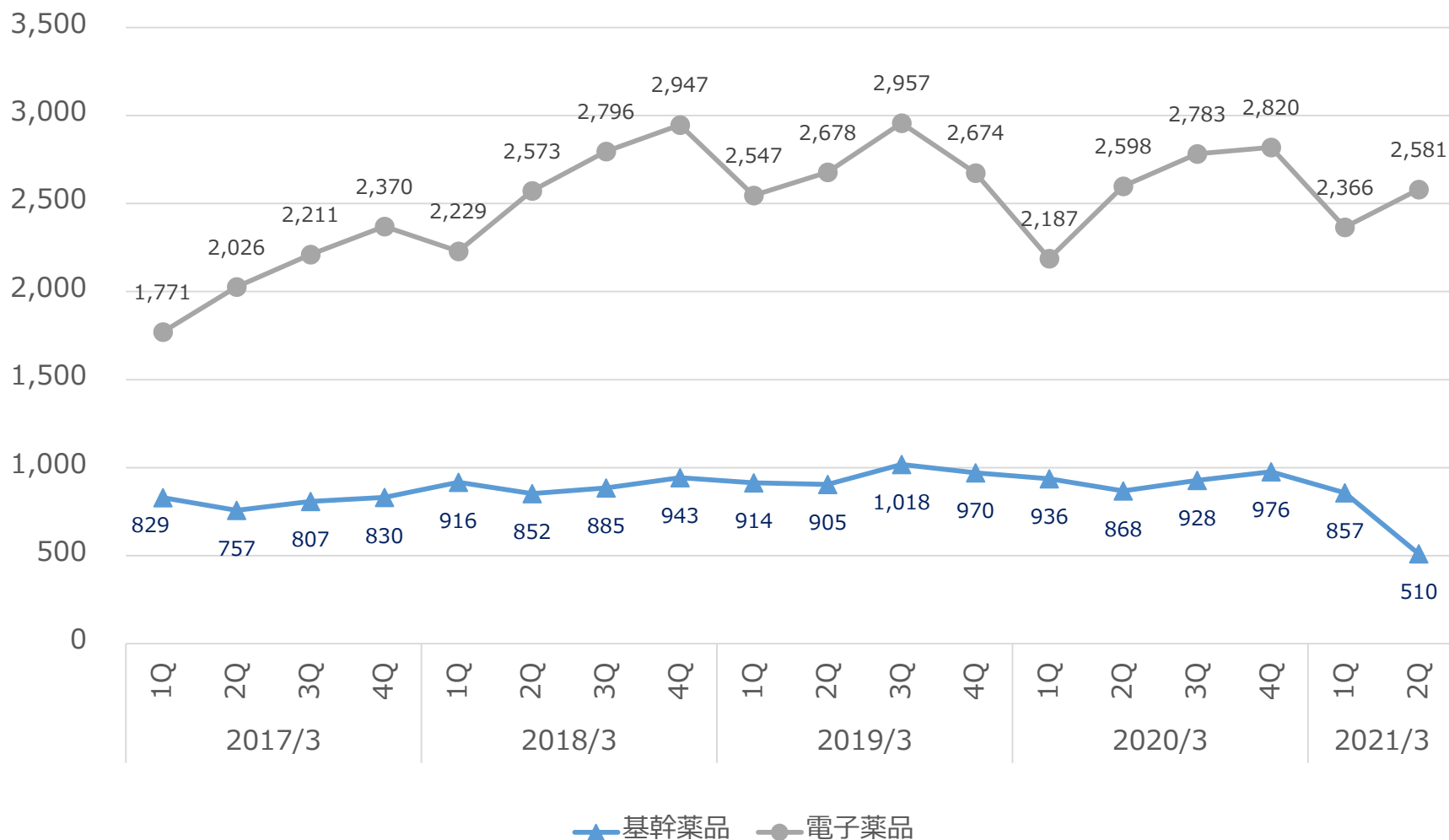
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

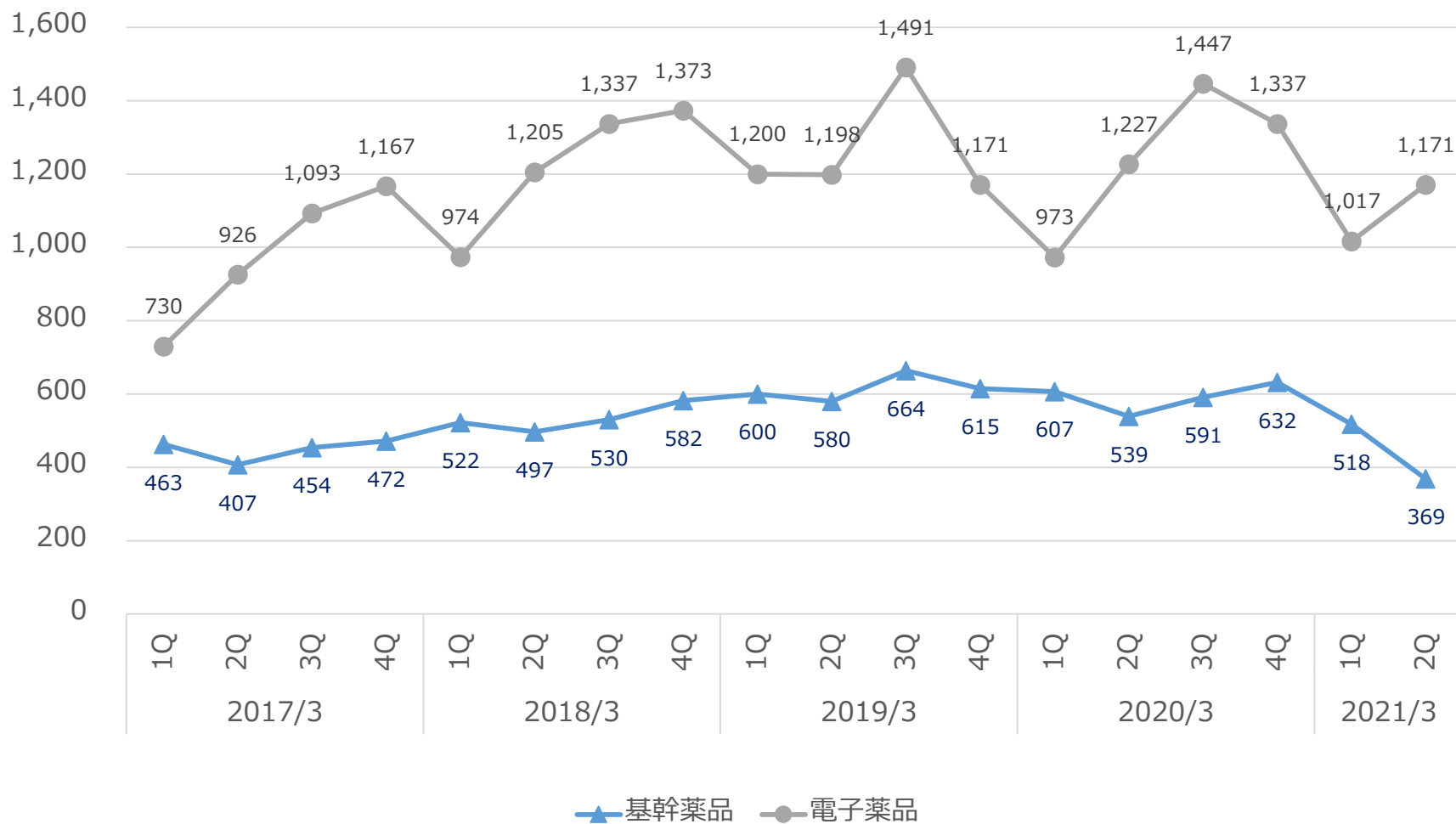
海外



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

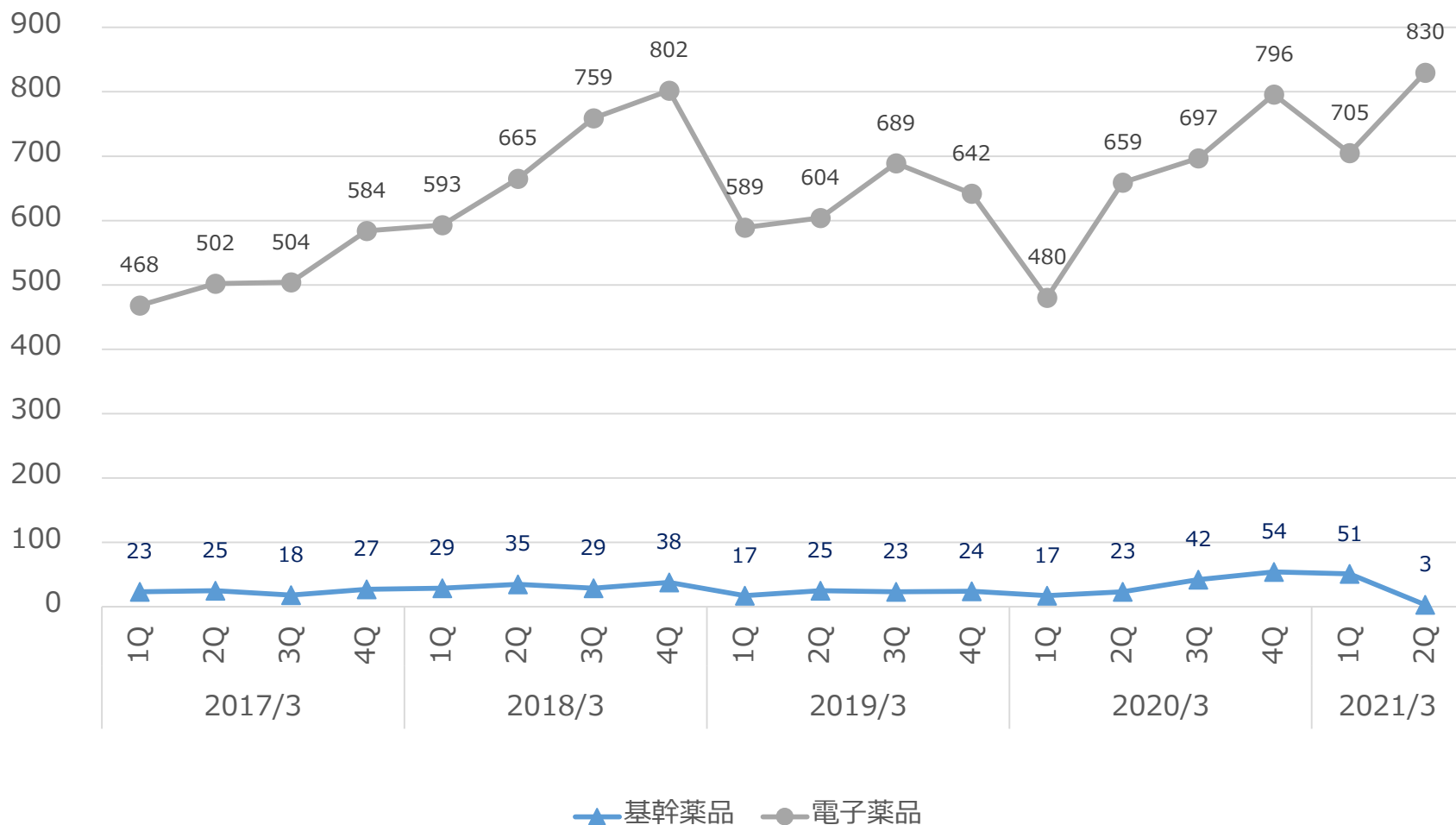
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

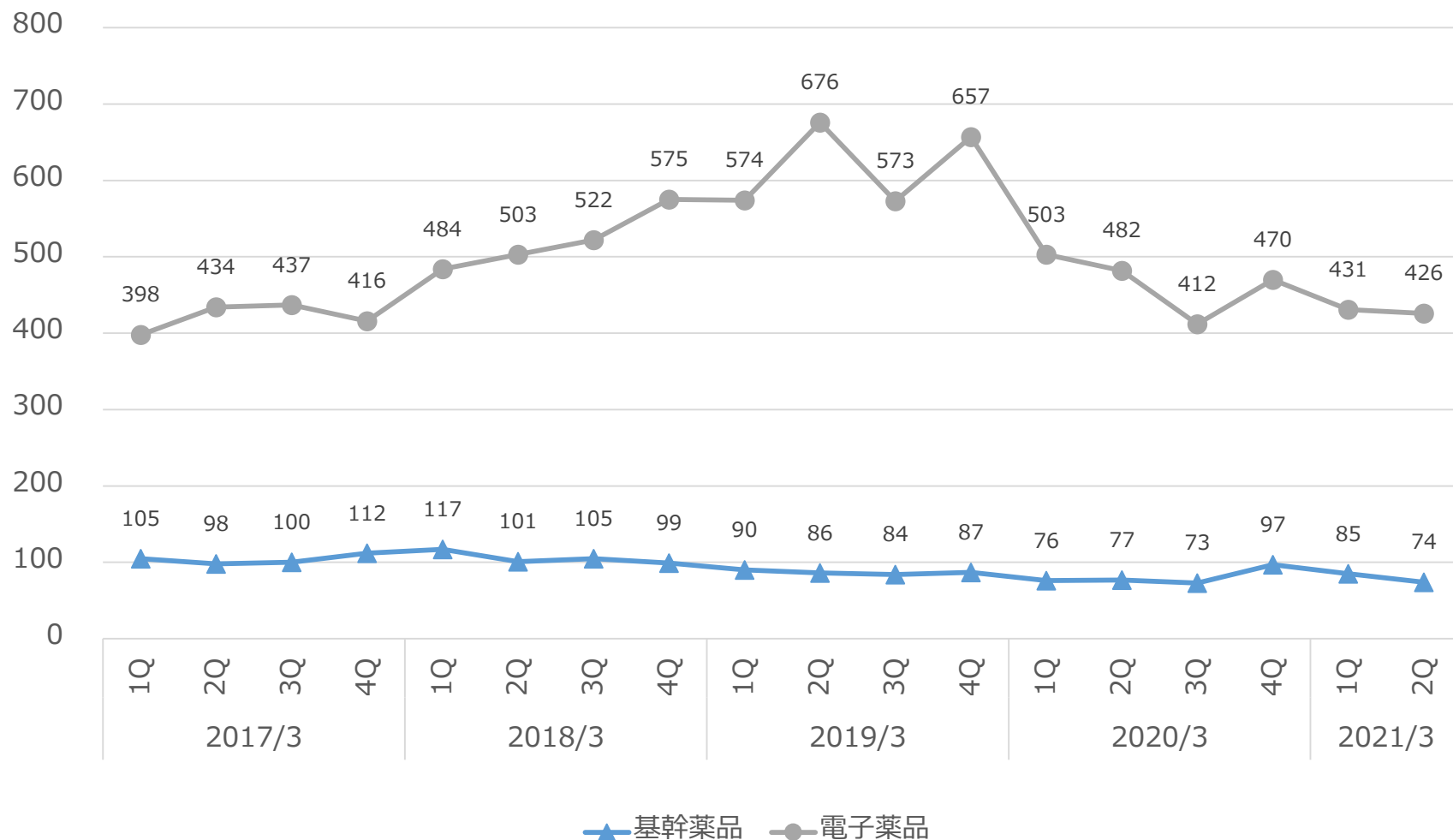
台湾



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

韓国



2021年3月期業績予想

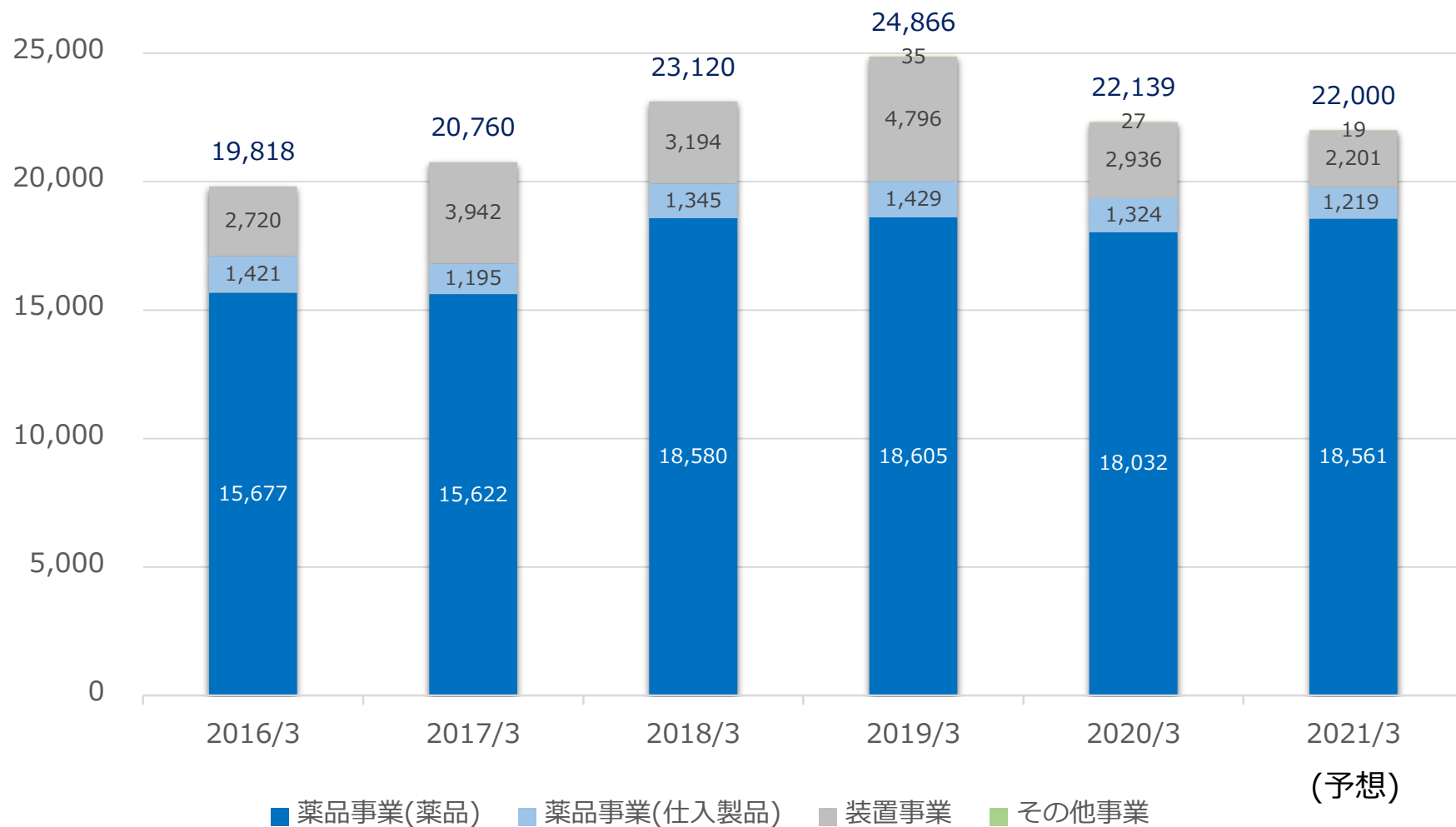
(単位：百万円)

決算期	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 上半期実績	2021年3月期 通期予想	通期予想 に対する進 捗率
売上高	22,139	9,673	22,000	43.9%
営業利益	6,297	2,917	6,400	45.5%
経常利益	6,240	2,953	6,500	45.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,416	2,012	4,450	45.2%
1株当たり 当期純利益	163円97銭	75円88銭	167円68銭	—

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が収束していないことから、引続き当社事業活動及び業績に影響を与えることが予想されますが、期初に公表いたしました業績予想は据え置くことといたしました。

年度別セグメント別売上高推移（予想）

（単位：百万円）



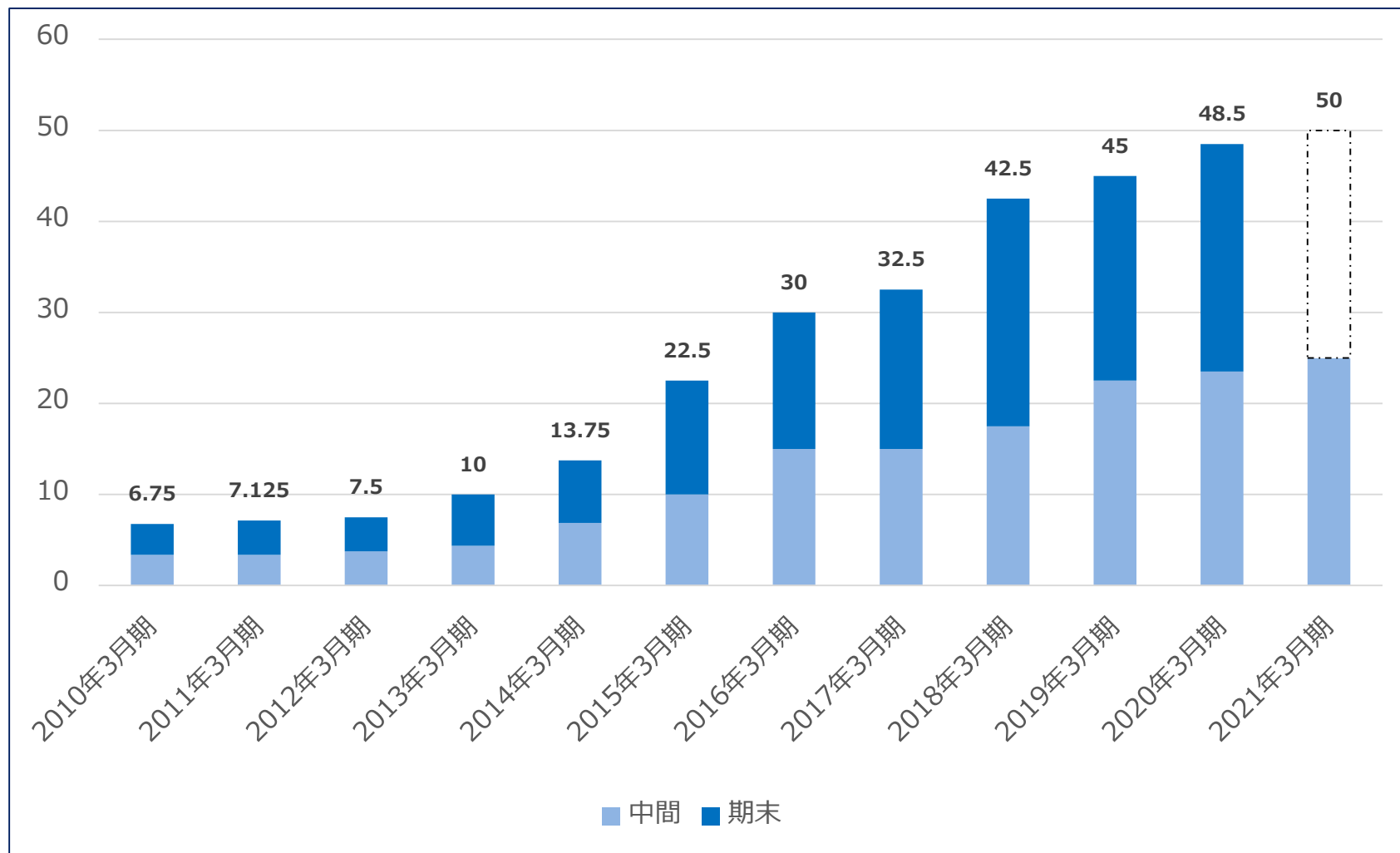
配当予想

		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期 (予想)
1 株 当 た り 配 当 金	中間	22.5円	23.5円	25.0円 (1.5円増配)
	期末	22.5円	25.0円	25.0円
	年間	45円	48.5円	50.0円 (1.5円増配)

当社は、持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続してまいります。配当は、安定増配基調継続を目指し、配当性向25%目安とすることを基本方針としております。

配当推移

(単位：円)



参考資料

- 会社概要
- 主な商流
- 主な製品

会社概要

創 業 : 1957年 12月

設 立 : 1968年 4月 1日

資 本 金 : 12億2,025万円

年 商 : 単体 122億円 連結 223億円 (2020年3月期末)

本社所在地 : 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階

業務内容 : 表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売

代表者 : 代表取締役会長兼CEO 小澤 恵二
代表取締役社長兼COO 木村 昌志

従業員数 : 単体 257名 連結 580名 (2020年3月期末)

ISO認証取得

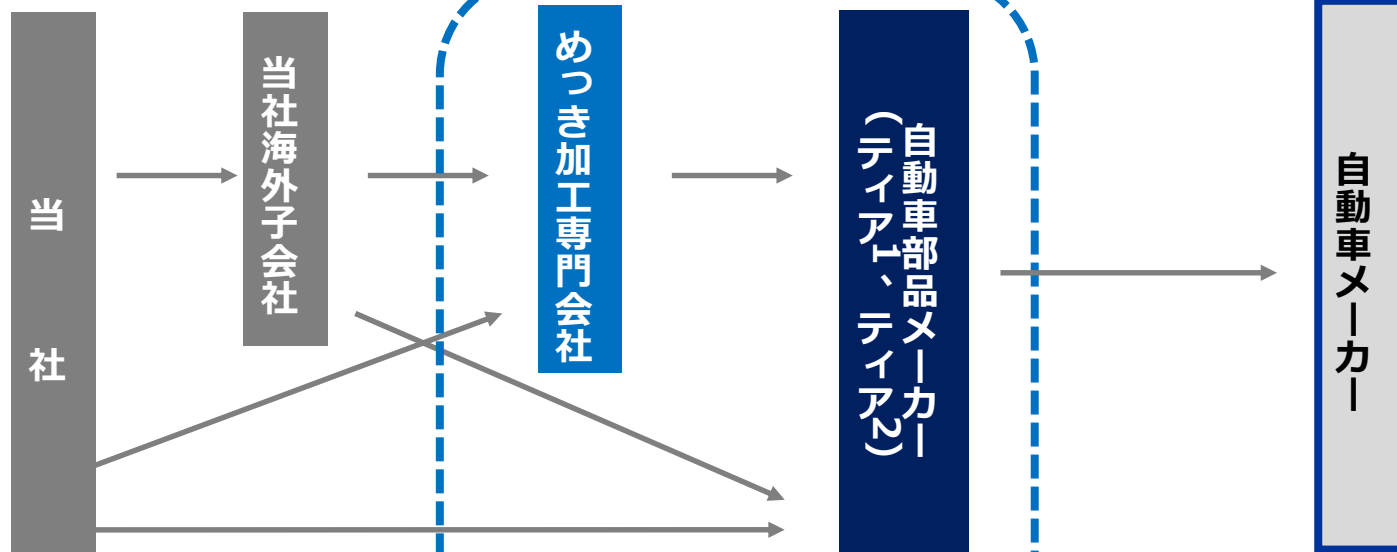
ISO9001 生産本部・本社営業部・総合研究所 JCQA-0281

ISO14001 生産本部・総合研究所 JCQA-E-0143

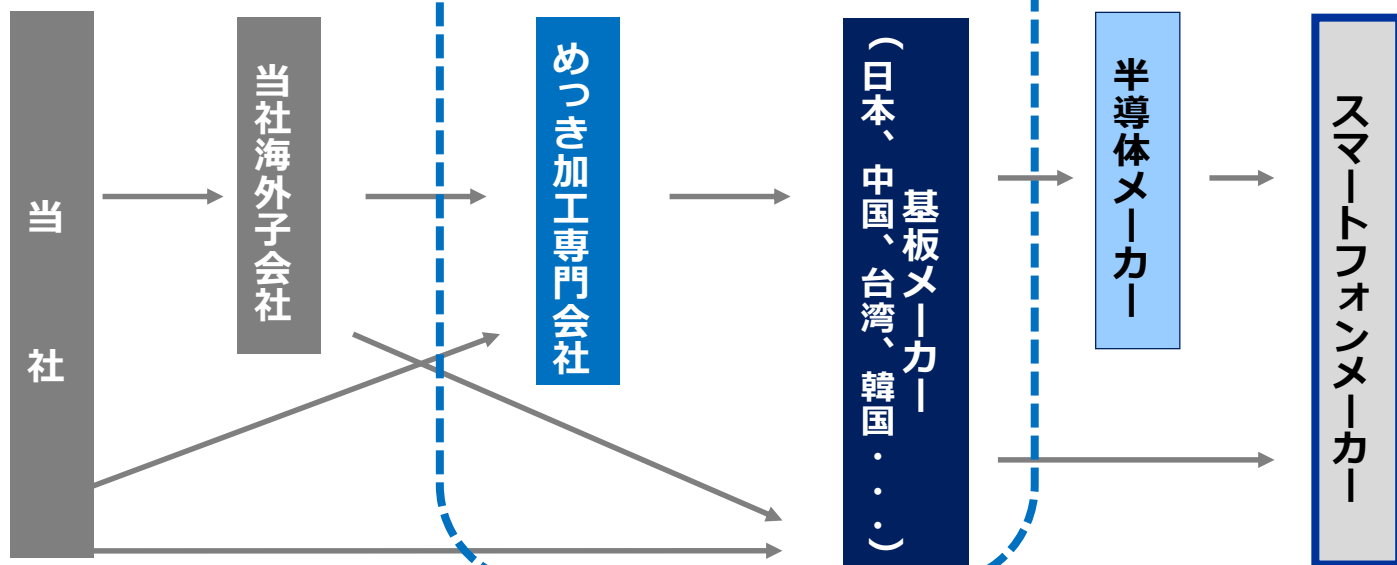
主な商流

顧客（販売先）

自動車



スマートフォン



主な製品

薬品事業

装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品（フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等） 水栓金具（給水機器、シャワーヘッド、排水栓等） 建築部品（ボルト、ナット等）
電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板（両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等） 電子部品（リードフレーム、チップ部品、コネクター等） 半導体（シリコンウエハー）

装置事業

全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ：
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先：経営戦略室
TEL: 03-6895-7004